

自分自身をバージョンアップ ～3学期終業式～

(学校長の話から)

私は入学式の式辞で、新入生に対して、挨拶、掃除、時間を守ることの3つがきちんとできるようになってほしいと毎年話しています。社会に出たら、挨拶ができる、掃除ができる、時間を守ることができることが求められます。それらが満足にできなければ社会人としての常識を疑われて、一人前として扱ってもらえません。

朝、下駄箱のところで登校するみんなの姿を見ると、きちんと挨拶ができる人が確実に増えました。気持ちよく一日が始まります。朝、先生や友達に出会えば自然と元気な挨拶をすることが習慣となり、それを氷上西高校の学校文化にしていきましょう。掃除もきちんとできる人が増えてきたと思います。掃除がきちんとできる人は仕事もきちんとできる人だと言われます。自主性と責任感、そして段取りが必要だという点で共通しているからです。そして3つ目の時間を守るですが、朝、遅刻をする生徒の数が大きく減りました。ほとんどいなくなりました。また、どの学校行事でも時間までに全校生が集合を完了することができています。

氷上西高校は、「規律のある学校」「落ち着いた学校」「学びと活気のある学校」になってきています。

理科の片山先生が面白いことを書いておられました。生物の進化の歴史を見ると、強いものが生き残るのでなく、環境の変化にうまく対応できるものが生き残っていくという内容だったと思います。

変化に対応できるとは、自分の置かれた環境に合わせて自分が変わり続けるということです。例えば、みんなが持っているスマホやコンピュータでも、常にバージョンアップを続けないとその機種は使えなくなってしまいます。iPhoneがiPhoneであり続けるためには、本体のモデルチェンジやOSのバージョンアップを繰り返さないといけないわけです。つまり変わり続けないといけないわけです。

では、どんな時に自分をバージョンアップすることができるのでしょうか？2つ紹介します。1つは、新しい学年が始まる新学期のスタートの時です。そしてもう1つは、ちょっと大変だとか、しんどいなと思うような状況になった時です。「ピンチはチャンス」という言葉がありますが、しんどい時は自分をバージョンアップさせるチャンスだと思います。少し考え方や気持ちの持ち方を変えることでピンチを乗り越えることができ、一気にそれがチャンスに変わります。

4月から始まる新学期に、もう一回り大きく自分自身をバージョンアップさせましょう。自分をバージョンアップしようとする生徒が多ければ、学校自体もバージョンアップします。みなさん一人一人のバージョンアップが、氷上西高校のバージョンアップです。

新学年のスタートに向けて、有意義な春休みを送ってください。

(校長 高橋信之)